

第 220 回
定例探鳥会

日時：2005 年 6 月 12 日 (日) 天候：晴れ
コース：高来神社 化粧坂 水道山 高田公園方向への分岐点

皆さんの集合を待っていると、上空をアオバトが18羽、12羽、3羽と群になって次々と現れ、海の方向へ飛び去っていきます。土曜日の天気が今一だったので、今日の快晴を待ちわびていたのでしょうか。

「昨日、「横穴群」の方でサンコウチョウの声を聞きましたよ」という情報が届いたので、急遽、水道山コースに変更して、「横穴群」に寄ってみることにしました。4月のお花見探鳥会と同じコースです。シジュウカラ、ヤマガラのおさえずりがにぎやかに聞こえてきます。双眼鏡でよく見ると、たくさんの幼鳥が成鳥と一緒に樹間を移動して行きます。羽をふるわせて親鳥に餌をねだる様子も見ることができました。メジロの群れの中には、アイリングの薄いまたはほとんど見えない幼鳥も混ざっていました。コースの途中で大きな木の下にくと、虫の羽音が大きく聞こえてきました。ハゼにミツバチが群がり小さな花の一つ一つから丹念に蜜を集めているところでした。

住宅地が終わり湘南平への山道に差し掛かるところでキビタキのおさえずりが聞こえてきました。声が近く見えそうなので探しましたが、枝にさえぎられて見つけることができませんでした。そのうち遠から「ホイホイホイ」という特徴のある声が聞こえました。定例探鳥会では久しぶりに聞くサンコウチョウのおさえずりです。残念ながら姿は見えませんでした。その後も何回か聞こえてきました。突然、羽音とともに「ポポポポ」という声がありました。アオバトの群が飛び立った瞬間です。堂平で聞いた繁殖地での声とは少し違っていったようです。オオルリを聞きながら横穴群を過ぎて高田公園の方への分岐点に来た所で鳥合わせをして解散しました。キビタキ、オオルリ、サンコウチョウの夏鳥を代表する声を聴くことができ、満足できる探鳥会でした。

参加者

参加人数 26 名 (敬称略)

- | | | | | |
|-------------|----------------|------------|--------------|-----------|
| 1. 下倉 紘一 | 2. 国友 昭男 | 3. 鈴木 逸子 | 4. 三留 満雄 | 5. 山田 文則 |
| 6. 平田 稔 | 7. 森田 義雄 | 8. 紺 龍彦 | 9. 大坂 英樹 | 10. 鈴野 嘉久 |
| 11. 大谷 秋代 | 12. 八木 正 | 13. 吉田 宣子 | 14. 清水 哲子 | 15. 武末 範子 |
| 16. 吉尾 孝 | 17. 木田 ハマ | 18. 片倉 暹 | 19. 古尾谷 七郎 | 20. 中村 豪夫 |
| 21. 片倉 義人 | 22. ノディー (探鳥犬) | 23. (田端 裕) | 24. (内山 規矩雄) | |
| 25. (金子 典芳) | 26. (岩佐 昌夫) | | | |

見聞きした鳥

種類数 26 種 (sp を含む)

- | | | | | |
|-------------|------------|----------|-------------|-----------|
| 1. ウ sp | 2. トビ | 3. コジュケイ | 4. キジバト | 5. アオバト |
| 6. ドバト | 7. ヒメアマツバメ | 8. コゲラ | 9. アオゲラ | 10. ツバメ |
| 11. イワツバメ | 12. ヒヨドリ | 13. ウグイス | 14. キビタキ | 15. オオルリ |
| 16. サンコウチョウ | 17. シジュウカラ | 18. ヤマガラ | 19. メジロ | 20. ホオジロ |
| 21. カワラヒワ | 22. スズメ | 23. ムクドリ | 24. ハシブトガラス | 25. ガビチョウ |

森の中は幼鳥がいっぱい！

今の季節は野鳥たちが繁殖の真っ最中です。そろそろ巣立ちを迎えた鳥も多く、森の中はとてにぎやかな状態になってきています。歩いていて聞きなれない声が聞こえてきたら気をつけて見てみましょう。

幼鳥といっても成鳥よりも小さいということはなく、巣立ったときには親とほとんど同じ大きさになっています。成鳥と比べて身体の色が薄い(淡い)または濃い、模様がハッキリしない、模様



が違っている、くちばしや脚の色が違う、アイリングなどの特徴がないまたは薄い、声が違うなどのポイントで見分けることができます。枝にとまって羽をぶるぶる振るわせて餌をねだっている様子が見られることもあります。

こまたんメンバーの観察記録の中から、今年は次のような種類の幼鳥が見られています。

カワセミ、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、モズ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ガビチョウ



森を歩いていておなじみの鳥に出会っても「なんだか！」と思わずに双眼鏡や望遠鏡でじっくりと覗いてみてください。かわいいしぐさが見られますよ。

図は上からエナガ、カワラヒワ、スズメの幼鳥です。



平塚市吉沢・土屋地区の銃猟禁止に向けて

平塚市の銃猟禁止区域の指定拡大について、関係地区の自治会、鳥獣保護団体、猟友会などが協議を続けていました。こまたん、すいたん(水曜探鳥会)、こまきんもメンバーとして参加しています。6月22日に第3回目の今年の銃猟禁止区域指定地についての調整会議が市役所にて行われました。この会議に出席した下倉さんからのレポートを紹介します。

結論から言うと、各地元自治会、農業団体、猟友会そして禁止の要望を出した我々の希望を考慮して市としては地元の意見を尊重して、以下の地域を今年の銃猟禁止区域に指定するように県に要望を出すことにすると表明しました。

1. 土屋地区全域

地元の4つの自治会が揃って全面禁止するよう要望している。地元の農家も確かに鳥獣による被害も少なからずあるが、耕作していても危険度の方が大きいので禁止を望んでいる。

2. 真田橋周辺及び大根川を挟む兩岸の土手一帯

金目地区、真田東部自治会では賛否両論あるが、今回は住宅地付近での銃猟を危険視していること、隣接の秦野市地域が禁猟地になっていることを考慮して住宅地に隣接する部分のみ禁止を要望している。この地域では金目中学校とみずほ小学校周辺も加えるよう小宮さんが強く要望して市も検討することになった。

3. 下吉沢地区の集落のある東部地域

地元自治会が集落のある地域を禁止候補地に挙げている。その他は農地が多く、有害鳥獣の被害が多いので現状のままとしたい。地元自治会は農業被害が少なければ禁止にして良いが現状では出来ないという。これに対して我々も被害を少なくするには協力して対策を地元の方々と共に協議したいと表明しました。

4. 上吉沢地区の農業総合研究所、平塚配水池周辺

前回、市が候補地に挙げた地域とする。

この候補地を地図を目にして、何故、一般の人達や子供たちが入る一帯を入れないのか、安全優先であるべきと主張したが、残念ながら我々が要望していた吉沢地区全体の禁止指定になりませんでした。最後に、市へ利害当事者の意見の一致がなければ現状維持との県の姿勢に対して、安全第一を優先するよう強く主張して欲しいと要望しました。しかし、一步前進として受け入れて来年も強く要望していきたいと思います。

今後は我々としても吉沢地区の農業被害について地元、JAそして市と共に対策検討に協力したと思います。それには、被害の実態を知らなければ・・・と思います。それには地元との接触が必要ですね。

今後も皆さんの協力をお願いします。

こまたんも展示で平塚七夕に参加

恒例の「湘南ひらつか七夕まつり」が7月6日(水)から10日(日)まで行われています。これに合わせて市内各所・施設でも数々のイベントが開催されています。こまたんが日頃便利に利用しているひらつか市民活動センターも「七夕環境展」で協賛することになり、こまたんにも展示への参加を要請されました。

先月の平塚環境展と同じ内容ですが、「平塚市の鳥～シラサギ」というテーマでねぐらの観察記録、平塚で見られるサギ類の写真などを展示しています。前回見逃した方のご来場をお待ちしています。

【お知らせ】

照ヶ崎連続アオバト観察会

今年も5月から9月までの最終日曜日に、照ヶ崎連続アオバト観察会を行います。

早朝の海岸で岩礁の上を群れで飛んだり、岩場に降りて吸水する様子を観察しましょう。

開催日：5月29日、6月26日、7月31日(アオバトの日)、8月28日、9月25日

場 所：大磯町照ヶ崎海岸。JR大磯駅で下車して海岸に向かい、照ヶ崎プールの西側の堤防を登ればすぐ眼下です。駅から徒歩10分ほどです。バスの場合は、「さざれ石」で下車し、徒歩約5分です。

時 間：午前6時から9時頃まで(都合のよい時間においでください)

持ち物：特に必要なものはありませんが、帽子と水分の準備をお勧めします

定例カウント調査

吉沢 & 土屋 8月6日(第1土曜日)

鷹取山 8月13日(第2土曜日)

午前6時に高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合、車で移動します。または6時15分までに、第1土曜日は松岩寺駐車場、第2土曜日は東の池に直接来られても結構です。

いずれも時間が来れば出発してしまいますので、時間厳守をお願いします。午前中に解散。

雨天中止

問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

アオバト情報

照ヶ崎への飛来状況

日付	観察時間		天気	飛来回数	飛 来 数		備 考
	開始	終了			総数	瞬間最大	
6/5	4:00	9:00		44	1033	100+	6/26 にアオバトのお泊まり調査が行われた。照ヶ崎へ飛来の第一陣は 4:20 ~ 4:30 頃です。
6/12	6:00	11:00		47	613	50	
7/3	3:56	10:03		30	211	49	

その他の場所での観察記録：吉沢・鷹取山・土屋・山北では多くの声、姿が記録されている

- ・ヤビツ峠(5/26)1羽が丹沢山方向へ飛んだ
- ・岳の台展望台(5/26)2羽が丹沢山方向へ飛んだ
- ・二宮一色(6/1)雑木林から鳴き声
- ・国府津(6/11)海岸線に沿って西から北東のコースと西へ向かうコースがあり、多数が3~25羽の群で飛ぶ
- ・千葉県佐倉市岩名(6/29)斜面の林から鳴き声
- ・北海道天売島(6/19)鳴き声を2回聞いた
- ・北海道利尻島(6/21)木にとまり鳴いていた、雌雄は不明

花水川・平塚大橋のサギねぐら調査

観察日	天気	コサギ	ダイサギ	アオサギ	ゴイサギ	サギ合計	ムクドリ
6/1		13	1	0	0	14	約400
6/3		17	0	0	0	17	約300
6/6		11	0	0	0	11	約300
6/8		8	0	0	0	8	約400
6/10		11	0	0	0	11	約2500
6/17		3	1	1	0	5	4
6/20		0	0	0	0	0	0
6/24		1	0	0	0	1	0
6/27		0	0	0	0	0	0

その他の野鳥情報

セグロカクコウ：6/4 西丹沢つつじ新道(檜洞丸登山道)夜間観察、午前2時から3時50分の間クワック、クワック、クワックという声を聞いた、録音したものをCDで確認。他にはトラツグミ、コノハズク、ホトゴギス、ジウイチ、ツツドリ、コマドリ、コルリ、アカハラ、アオバト、マミジロなど

アオバズク：6/21 高麗山、22時50分頃から5分間以上声が聞こえてきた

ウグイス：6/14 鷹取山、幼鳥2羽が藪の中を移動

ササゴイ：6/19 大磯町高麗、幼鳥らしい2羽がキューッと鳴いて飛び立った

アオゲラ：6/21 吉沢・日之宮山、地上から2m位のところで幹に丸い穴をあけていた

次回の定例探鳥会は2005年8月14日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第221号 / 7月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>